Case：192

敷布団と一緒に床へすべり落ちそうになる

場面の説明

ベッドから立ち上がろうと力を入れたところ、マットレスからはみ出ていた敷布団もろともすべり落ちそうになった

利用シーン	起居・就寝
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

介護ベッドではマットレスの上に敷布団を敷く必要はありません。この事例では、敷布団が大きめで脇から垂れ下がっており、そこに座ったことによって、すべり落ちそうになったとのことです。どうしても敷く場合には、サイズを合わせズレないような工夫も必要です。
また、布団ではなくても、サイズの合わないマットレスを使用している場合も同様の危険があります。寝具は介護ベッドと適合するものを利用しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：マットレスの上には敷布団を敷くものと思っていた
人：敷布団は必要ないことを利用者に伝えていなかった
モノ：提供されたマットレスが硬くて眠れず、やむなく使用していた
管理：介護用のベッドは一般ベッドよりも幅が狭く、一般の寝具では適合しないものが多いとの説明が不十分であった

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.